



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和7年9月10日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
里川・水産 振興課	漁業振興係	景山 水野	内線 4216
			直通 058-272-8293
			FAX 058-278-2695
水産研究所	漁業研修部	武藤 加藤	直通 0586-89-6352 FAX 0586-89-6365

SEAFDEC職員が環境DNA分析手法を学びに来県します

県では、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認定を契機に、開発途上国などに対して内水面漁業に関する技術指導や研修を実施するなどの国際貢献を進めています。

このたび、SEAFDEC（東南アジア漁業開発センター）が、「熱帯ウナギの環境DNA分析手法及び環境DNA濃度からの生物量推定手法」に係る技術習得のため、日本に研修生を派遣し、研修機関の1つとして岐阜県内水面漁業研修センターにおいて、下記のとおり研修を実施しますのでお知らせします。

記

- 研修日時** 令和7年9月16日（火） 9時00分～17時00分
内、取材可能時間 10時00分～17時00分
- 研修場所** 岐阜県内水面漁業研修センター（岐阜県水産研究所内）
（各務原市川島笠田町官有地無番地）
- 研修生** Dwi Rizki Septiana 氏（国籍：インドネシア）
（ドウィ リスキ セプティアナ）
- 技術研修内容** 環境DNA分析手法の座学・実習
- その他** 取材いただける場合は、9月12日（金）正午までに上記、里川・水産振興課担当まで連絡願います。

< S E A F D E C : Southeast Asian Fisheries Development Center >

日本及びA S E A N加盟国の計11か国で構成。東南アジア地域の持続的な水産業発展のための漁業開発の促進を行うことを目的として設立（事務局：タイ）。

< 岐阜県内水面漁業研修センター >

平成28年7月に設立。主に、東南アジアやアフリカの国々から研修生を受入れ、内水面漁業に関する「漁場管理」や「増殖技術」などの研修を実施し、各国の内水面漁業の発展に貢献。

< 環境DNA分析手法 >

水中などに存在する生物由来のDNAを検出する技術。従来、水中の生物の生息状況は、対象生物の捕獲が必要であったが、本手法では、分析に必要な水を汲むだけで網羅的に生息生物の分析が可能。

< 今回の研修について >

期 間：令和7年9月1日～令和7年9月19日

受入機関：国立研究開発法人水産研究・教育機構、長野大学淡水生物学研究所、岐阜県

目 的：「熱帯ウナギの環境DNA分析手法及び環境DNA濃度からの生物量推定手法」の研究技術習得

日本とA S E A N地域の内水面漁業に携わる研究技術者のネットワーク強化